

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成29年12月14日 (2017.12.14)

【公開番号】特開2017-118945(P2017-118945A)  
 【公開日】平成29年7月6日 (2017.7.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-025  
 【出願番号】特願2015-256557(P2015-256557)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月3日 (2017.11.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域と、  
所定の発射位置から前記遊技領域に向けて遊技球を発射する球発射装置と、  
前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球を所定の返却  
口を通して遊技者に返却する発射球返却部と、  
遊技球に付された線材の機前からの操作を防止し得る不正防止部と、を備え、  
前記不正防止部は、遊技球に付された線材を切断又は挟止するものであり、  
前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球が通過する返  
却経路に前記不正防止部を設け、  
さらに、前記返却経路に設けられる前記不正防止部とは別に、遊技球に付された線材を  
切断又は挟止する別防止部が設けられることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、上記に鑑みなされたもので、その目的は不正行為の抑止力を高めた遊技機を  
 提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の遊技機は、  
遊技球が流下する遊技領域と、  
所定の発射位置から前記遊技領域に向けて遊技球を発射する球発射装置と、

前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球を所定の返却口を通して遊技者に返却する発射球返却部と、

遊技球に付された線材の機前からの操作を防止し得る不正防止部と、を備え、

前記不正防止部は、遊技球に付された線材を切断又は挟止するものであり、

前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球が通過する返却経路に前記不正防止部を設け、

さらに、前記返却経路に設けられる前記不正防止部とは別に、遊技球に付された線材を切断又は挟止する別防止部が設けられることを特徴とする。

かかる遊技機によれば、遊技球に付された線材が、返却経路に設けた不正防止部で切断又は挟止されて遊技球を操ることができなくなるため、返却経路を利用した不正行為を抑止することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明によれば、不正行為の抑止力を高めた遊技機を提供できる。